



受章の報告に町役場を訪れた阿部さん(右)

## 長年の地域防災への尽力たたえる

元町消防団庶務分団長の阿部丈夫さんに瑞宝単光章

秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した元町消防団庶務分団長の阿部丈夫さん(伯父ヶ倉)は11月25日、町役場を訪れ、前後公町長に報告しました。阿部さんは昭和33年に町消防団に入団し、第5分団長などを歴任。平成9年に退団するまで39年間にわたり地域防災に尽力しました。阿部さんは「町民の皆さんの支援があったから受章することができた。長い間消防活動を支えてくれた家族にも感謝したい」と話しました。

## ふるさとに桜の花を咲かせよう

東京猪苗代町民会が苗木を贈呈

首都圏などに住む町内出身者でつくる東京猪苗代町民会(坂直孝会長)はこのほど、亀ヶ城公園結の里保存会に桜の苗木を贈呈しました。東京猪苗代町民会と横浜市金沢区の野口英世細菌検査室保存会の会員らは10月27、28の両日、野口博士ゆかりの地などを巡るバスツアーを実施。初日に猪苗代四季の里で交流会が開かれ、この席上で坂会長が前後公町長に苗木の目録を手渡しました。この苗木は来春、亀ヶ城公園に植えられる予定です。



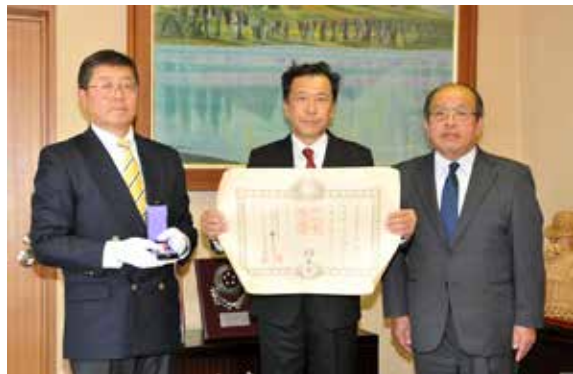
前後町長に目録を手渡す坂会長(右)

## 故中村昭二さんに叙勲伝達

町議会議員としての功績に旭日単光章

町議会議員を3期務め、町政の伸展に尽力した元町議会議員の故中村昭二さんが旭日単光章を受章しました。叙勲伝達式は11月10日、町役場で行われ、須藤浩光県会津地方振興局長が中村さんの長男の伸太郎さんに勲記と勲章を手渡しました。

伸太郎さんは「皆さんの支援のおかげで、立派な章を頂くことができた。父の遺志を継いで頑張っていきたい」と感謝を述べました。

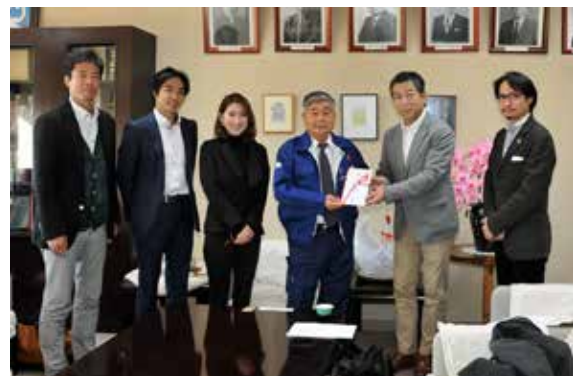


左から須藤局長、中村さん、大川原久夫副町長

## 桜で東日本大震災の復興を後押し

朝日新聞社こすもす俱樂部が町に苗木を贈呈

朝日新聞社こすもす俱樂部は10月29日、震災復興支援のため町に桜の苗木5本を贈りました。朝日新聞専売店の女性従業員の福利厚生事業を実施する同俱樂部では、毎年同女性従業員の誕生日に花を贈呈しており、苗木はその費用の一部で購入されたものです。同日、びわ沢原森林公園で記念植樹が行われ、関係者らは、桜が咲き誇る名所となった同公園に、多くの人が訪れるよう願いを込めながら、苗木を植えました。



前後公町長に目録を手渡す関係者

## 親子連れなどが仮装を楽しむ

和みいなハロウィンを開催



1\_「妖怪ウォッチ」のダンスを踊る子どもたち 2\_押田キャサリンさん(左)らによる「夜のおはなし会」の様子。仮面をつけて、妖しい雰囲気たっぷりに語りました 3\_仮装して集まった子どもたちや保護者ら。この日、町内のお店では仮装グッズが飛ぶように売れたのだとか



## 優れた医学研究の功績たたえる

学びいなで野口英世医学賞授賞式

免疫学や細菌学の分野で優れた医学研究を顕彰する第57回野口英世記念医学賞の授賞式は11月8日、学びいなで行われ、受賞した京都大ウイルス研究所教授の理学博士、藤田尚志氏の功績をたたえました。藤田氏の研究は、ウイルスに対する免疫機能を解析する上で重要な発見であり、感染症の予防や治療への応用が期待されています。授賞式では、野口英世記念会の八子弥寿男理事長から藤田氏に賞状が手渡されました。



八子理事長から表彰を受ける藤田氏(中央)と猶子夫人(右)

## 約2600人が猪苗代を駆け抜ける

猪苗代湖ハーフマラソン2014

猪苗代湖ハーフマラソン2014は11月2日、カメリーナをスタート、ゴールとするコースで開かれました。レースは、ハーフマラソンを中心とした計15部門で争われ、合わせて2617人のランナーが晩秋の猪苗代路を駆け抜けました。カメリーナには、多くの町民や学生がボランティアとして参加し、大会の円滑な運営に一役買いました。本町産の野菜を使った豚汁や手打ちそばなども振る舞われ、ランナーたちから好評を博しました。



ハーフマラソンの部で一齐にスタートするランナーたち





元気いっぱい「野口英世の歌」を歌う翁島小の児童

## 野口英世博士の誕生を祝う

### 野口英世記念館で誕生祭

本町出身の世界的医学者、野口英世博士の誕生を祝う第138回誕生祭は11月9日、野口英世記念館至誠館で開かれました。誕生祭では、野口家の菩提寺である長照寺の楠俊道住職による読経、関係者らの献花の後、翁島小の4年生が「野口英世の歌」を披露し、博士の功績をたたえました。

誕生祭に続き、野口英世博士顕彰記念作文コンクール・少年科学賞授賞式が行われ、受賞した小、中学生を表彰しました。

## チーム一丸となって頑張れ

### 小桧山憲作さんが猪苗代町チームに激励金

小桧山憲作さん(本町)は11月1日、第26回ふくしま駅伝に出場する猪苗代町チームに激励金10万円を贈りました。

「もともと駅伝が好きで、本当は現地で応援したかったが、難しいので激励金という形で応援させていただいた」と小桧山さん。大会の様子はテレビで観戦したそうで、「町の部初優勝は本当にうれしい。チームのために、選手一人一人が限界へ挑戦する姿に感動しました」と話しました。



二瓶総監督、渡部監督らに激励金を手渡す小桧山さん(左)

## 水質日本一の復活を目指して

### 天神浜で猪苗代湖クリーンアクションを実施

県民ボランティアによる「猪苗代湖クリーンアクション2014」は10月29日、天神浜で行われ、町内外から訪れた参加者約250人が水草回収に汗を流しました。

例年はヨシ刈りを実施していますが、今年は腐敗すると水質汚濁の原因となる水草の回収に取り組みました。参加者たちは、水質日本一の復活を願い、湖岸に打ち上げられた大量の水草を熱心にかき集めました。



湖岸に打ち上げられた大量の水草を回収する参加者

## 初めての体験にみんな夢中

### 幼稚園児が猪苗代湖でシジミ狩り

翁島、吾妻の両幼稚園児たちは10月30日、三城潟湖畔でシジミ狩りに挑戦しました。猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表指導の下、園児たちは、シャベルなどで砂浜を掘り、ふるいにかけてシジミを探しました。初めての体験に園児たちは夢中。

吾妻幼稚園の小川陽向ちゃんと阿部心太郎くんは「泥だらけになって楽しかった。シジミが見つかった時はとてもうれしかったです」と満面の笑みを浮かべました。



シジミを探す園児たち



テレビ電話で五十嵐町長、小椋村長と協議する前後町長

## 万一の磐梯山噴火に備えて

### 磐梯山火山防災連絡会が訓練を実施

猪苗代、磐梯、北塩原の3町村で構成する磐梯山火山防災連絡会の情報受伝達訓練は11月5日、各町村役場で実施されました。訓練は、磐梯山で火山性微動を2度観測、噴火警報が発表されたとの想定で実施。福島地方気象台の発表により、県から連絡を受けた担当者らが、各町村長に報告した後、前後公町長、五十嵐源市磐梯町長、小椋敏一北塩原村長の3人が、登山者、観光客や住民への安全対策の伝達方法などについて確認しました。

## 世界選手権目指し熱戦を展開

### 天神浜でシクロクロス大会を開催

シクロクロスの大会「TOHOKU CX Project 2014 第3戦」は11月2日、天神浜で開かれ、全国から集まった約160人の選手たちが熱いレースを繰り広げました。シクロクロスとは、障害物がある不整地の周回コースを走る自転車競技で、もともとはロードレース選手の冬季トレーニングとして始まったもの。この大会は、世界選手権日本代表の選考レースとして開催され、国内トップレベルの選手たちがしのぎを削りました。



浜辺を駆け抜ける選手たち

## 地域の皆さんと交流を深める

### 町立猪苗代病院がふれあいの日イベント

町立猪苗代病院の「ふれあいの日」イベントは10月23日、同院で開かれ、ヨーデル歌手関大八さんのコンサート、看護師によるフラダンスや病院オリジナル健康体操の発表などが行われました。骨密度や肺機能などの健康チェックコーナー、抹茶やお菓子の振る舞いも行われ、来院者から好評を博しました。同院の渡部総看護師長は「近所の皆さんと触れ合う機会として、年に2回実施しています。次回も多くの皆さんに来てほしい」と話しました。



関大八さん(右)の歌に合わせてフラダンスを披露する看護師

## 合格目指し粘り強く頑張れ

### J A あいづが中学生に合格祈願米を贈呈

J A あいづから町内3中学校の3年生へ「合格祈願米」を贈る贈呈式は11月21日、役場正庁で行われました。この米は、会津若松市の水田に市立第六中学校の生徒約100人が手植えをし、収穫後は会津美里町の文殊院清龍寺で祈祷をしたコシヒカリ。

贈呈式では、J A あいづの岩橋直芳代表理事専務が各校の代表に人数分の米を手渡しました。生徒を代表して猪苗代中3年の小鮒一友さんがお礼と決意の言葉を述べました。



贈呈式に出席した皆さん